

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年09月20日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年08月11日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校(日本語名) University of California, Berkeley(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2024年5月~2024年8月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1学期: 4月上旬~7月下旬 2学期: 9月中旬~2月上旬	1学期: ~ 2学期: ~ 3学期: ~ 4学期: ~
学生数	
創立年	

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (USD)	日本円	備考
授業料	6847	1027050 円	10units 履修
宿舍費	7788	1168200 円	ihouse シングルルーム
食費	150	22500 円	外食
図書費	0	0 円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	166	25000 円	物理 sim を日本で購入
現地交通費	0	0 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		円	形態:
渡航旅費		159787 円	航空券
ビザ申請費		円	
雑費	200	30000 円	諸々
その他		円	
その他		円	
合計	15151	2272650 円	実際にはもう少しかかっていると思います

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 成田空港 目的地: サンフランシスコ国際空港 経由地: 復路 出発地: サンフランシスコ国際空港 目的地: 成田空港 経由地:
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: zipair 料金: 159787 円 ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: zipair) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: ihouse) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
過去にパークレーに行った先輩たちの報告書に書いてあったのでここをえらびました。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
まあまあきれいで、ダイニングホールなどでほかの住人と仲良くなる機会が多くあります。ここはおすすめです。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

パークレーからメールで危険情報が送られてくるのでそれを見ました。また、行ってはいけない場所をネットで調べたり、人にきいたりしました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

停電があったときはインターネットが使えなくなったが、基本的に良好である。wifiが二種類(berkeley visitor と eduroam)があり、後者のほうが強い。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを一枚と現金を300ドル持って行った。クレジットカードは限度額の高いものを一つ持っていか、2枚k持っていきがいいと思う。現金も割り勘で使うことが多いのでたくさん持っていきとよい。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

特になし。ドライバーは持っていったほうがいいと思う。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に指定したクレジットカードで払った。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Sociology of culture	文化社会学
科目設置学部・研究科	
履修期間	session A
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が4回
担当教授	Jerome Baggett
授業内容	文化にまつわる社会学
試験・課題等	試験は事前に教えてもらえるトピック。に対してエッセイを2,3本かくというもの
感想を自由記入	私がバークレーで一番最初に受けた授業がこれです。先生は非常に朗らかで人がいいです。授業の課題は基本的にリーディングタスク(一回の授業で20pほど)と習ったことをもとに社会学的な分析を書くもの(全六週のうち三週課題を出す)、ブックレポート(指定された社会学に関する本を読んで分析を書く)の3つです。結構忙しかつたですが、内容はとても面白く社会学や文化に関心のあるひとなら楽しいと思う。授業はリーディング課題として読んだ社会学の文章の内容について問答をするというかたちであり、発言することが重視されるのでリーディングをしっかりとやって授業に行くことが重要です。とにかく教授がすごく面白い人なので結構お勧めしたい授業です。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Critical issues in global studies	国際学における重要な問題
科目設置学部・研究科	
履修期間	session D
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Devin Leigh
授業内容	国際学の授業
試験・課題等	エッセイを書く方式の試験
感想を自由記入	移民やテクノロジー、開発などのテーマについてのリーディングや映画、講義を通して問題について考える授業。評価は、授業への参加、世界の国を覚えるテスト、その週の授業の内容に関する質問に対するエッセイ、期末試験、リーディングの振り返りをするものの5つで、すべてが20%ずつです。コツコツと目の前に課題に取り組むことが重要です。授業内容は結構面白かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
stress and coping	ストレスとその対処
科目設置学部・研究科	
履修期間	session D
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Andy Martinez
授業内容	ストレスとその対処について心理学を用いて考える授業。
試験・課題等	試験はマークシートを使った選択式のもの 課題はストレスへの対処法を実践してその効果などをまとめるものが2回とRPP(research participation program)
感想を自由記入	パークレーで受講した授業の中では比較的易しい部類の授業でした。教授の英語も聞き取りやすく、課題、試験ともにそこまでハードではないのでおすすめできます。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
California Dreams and Realities	カリフォルニアの夢と現実
科目設置学部・研究科	
履修期間	session E
単位数	1
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Andrea Lypka
授業内容	毎週授業資料としてアップロードされる文章やビデオに関しての意見を書いてほかの受講者と意見交換をする授業。
試験・課題等	毎週の課題と final project(presentation)
感想を自由記入	カリフォルニアという土地についてよく知ることができる授業でしたが、対面のクラスが全くない授業なので友達ができたりすることはありません。ただ、自分のペースで課題を進めることができるので、同じ期間に難しい科目を取っている場合にはおすすめできます。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

マイナビ、リクナビなど

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	Toefl 受験
	10月～12月	留学の応募
留学開始年	1月～3月	寮の手配、授業料の支払い、ビザ、パスポートの用意、航空券の購入
	4月～7月	留学
	8月～9月	帰国後書類の作成
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学を試みようかなと思っている人に僕が言いたいことは、迷ったら行くべきだということです。私は今回のバークレーの留学に行くまでは、海外に行ったことすらないような人でしたが、今回留学に行ったことで自分に自信が付きまし、知らなかったことを知ることによって自分の考え方が大きく変わりました。バークレーでは日本にいたら絶対に合わないような人々と会うことができますし、勉強にすごく本気になることができます。迷ったら行ってみてください。きっと後悔はしません。